

おもちのはなし

年末になると、お正月の準備に餅つきをされるご家庭はありますか？

今は、餅つき機でおもちが作れる便利な時代になりましたので、杵と臼で餅つきをしているご家庭をあまり見なくなりましたね。

お正月についつい食べすぎてしまうこの「おもち」どんな由来があるんでしょうか…。

語源・由来

『おもち』の名前の由来にはいろいろな説があるそうです。

◎ 満月から

望月とは満月のことで、満月のような円の形は円満の象徴と考えられていたため、太陽や月を尊崇（そんすう）し、祭りなどのたびに太陽や月になぞらえて餅の形を円にしたりしていました。なので、満月＝望月の“もち”からきたのではないかという説。

◎ 中国語から

中国や台湾では餅のことを「モアチイ」と発音するため、もち米が日本に伝わる時、「モアチイがモチとよばれるようになった」という説。

◎ 「持ち歩くごはん」

餅は小さくて腐りにくいので昔は弁当としても重宝されていたので。「持ち歩くご飯」という意味で「もち」と呼ばれるようになったという説

この他にもあるそうですが、また本当のことはわかっていないようです。

ちなみにもちを漢字で書くと「餅」となりますが、この漢字の「餅」を中国では小麦粉を混ぜて作ったもののこと全般をさすそうです。発音は「餅（ピン）」です。食感が似ていることからこの漢字を使っているそうです。

おもちの分歧ライン



かんたんレシピ

セロリの塩こんぶ和え

※材料※

セロリ（茎）

1/2 本

塩こんぶ

大きじ 1

ごま油

小さじ 1/3



- ① セロリを 2mm 程度の太さに斜め切りにする。
- ② 耐熱容器に入れ、セロリと塩こんぶを入れ混ぜ、ラップをかけて 1 分ほどレンジで加熱する。
- ③ レンジから出し、もう一度軽く混ぜる。
- ④ 仕上げにごま油を入れて完成！

レンジで加熱すると早く味が馴染むので 5 分ほどで完成です！



餅は丸かな？ 四角かな？

お正月にお餅が食べられるようになったのは室町時代から。望月（満月）や鏡への信仰に通じているため、円満を象徴する縁起物です。だからおもちは丸く作られていました。

一方角餅が生まれたのは、江戸時代の江戸です。当時の江戸は、地方から人間が流入し人口が急増したのですが、女性が少ない極端に偏った人口比でした。

正月の餅を家で作ろうにも男ばかりで、年末に長屋の住民などが集まって全員のお餅を作っていたそうです。そこで、伸ばした「のし餅」を切る事で、時間がかかる効率よく作ることの出来た方法として「角餅」が生まれました。

この伝えでは角餅は信仰に反しますが、江戸では「角餅も焼いてしまえば丸くなる」との合理的な判断で角餅が広まったそうです。関西は丸餅、関東では角餅が広がったようです。

分かれ目は関ヶ原！

昔は、関ヶ原は関東、関西の分かれ目でした。旅人達はこの関所を通過すると関の西で関西と呼び、また反対に東へは関東と呼びました。時代の流れとともに境界は移動し、また関東・関西という言葉は一部の地域を指す言葉に変化していきましたが、元の語源はここにありました。

地理的には関東関西の境目ではなくなった関ヶ原ですが、食べ物や習慣に関しては今でも境界にあたるもののがおおいです。その中の一つ、お餅も関ヶ原で角餅と丸餅に分かれます。カップうどんのどん兵衛のおつゆも。東はかつおだしの濃口醤油。西は昆布だしと薄口醤油で作られているそうです。そのほかにも、いなり寿しのあげの切り方。卵焼きの味など、関ヶ原を境に分かれているそうです。

かとけんホーム 施工写真集



11月
12月



一見したら、ただの窓ですがこれが「真空ガラス」。
断熱効果は通常のペアガラスをはるかにしのぐ優れものです。

リクシルキッチンに取り換えるのに合わせて、ガスコンビネーションレンジも組み込みました。木目が美しいキッチンです。

ホーロー製の水に強いシステムキッチン完成です

玄関手すりは市の補助金を利用して取り付けました。



四字熟語パズル

四字熟語が4つバラバラになっているので、正しい四字熟語を4つ作ってください。

三	一	一	千
業	獲	統	安
精	金	贊	神
居	昧	樂	沢

- ①
- ②
- ③
- ④

抽選で粗品
プレゼント!!

先月号のこたえ

- ① 一日千秋
- ② 清風故人
- ③ 知恵才覚
- ④ 静寂閑雅(せいじやくかんが) ↓

静かでひっそりとしていて、
みやびやかな風情のあるさま。

四字熟語パズル応募方法

①名前 ②住所 ③電話番号④「かとけん通信」の中で興味のあった記事、ご意見、ご感想など。⑤四字熟語を4つ①～⑤をご記入の上FAXかメールにてご応募下さい。

FAX 22-2133 ☎ hirose@kato-const.jp ハガキやお電話でもOKです！

社長よりひとこと

いよいよ師走に入り今年もあとわずか、一年が本当に早く感じられます。今年も色々な出来事があり、福知山は二年続けて水害に見舞われるという離れたくないことで有名になってしまいました。しかしその水害に負けて、一日も早く立ち直ろうとみんな力を合せてがんばり現在も急ピッチで復旧中です。弊社も微力ながら災害復旧に取り組んでおります。読者のみなさまもこの一年色々なことがあったと思いますが、今年を明るく締めくくり、みなさんお元気でよい年をお迎えされることを心からお祈り申上げます。おがとうございました。 加藤淳



かとけんホーム

〒620-0042 福知山市北本町二区30-1 加藤建設(株)



0120-24-1900

ホームページ
専門店

ホームページ

社長ブログ

かとけんホーム

かも社長

検索

検索

